

11/30

今場所勝ち越し

(木)

地元のパワーをもらって

かいごう ひろまさ

本町出身の力士、魁郷関（本名：小島大尚）が、11月30日、役場を訪れ、令和5年11月場所（九州場所）を勝ち越して終えたことを川添町長に報告しました。

平成30年3月場所に初土俵を飾った魁郷関は、現在までに34場所を経験し、今場所は4勝3敗で勝ち越しました。

魁郷関は「九州場所が終われば、長島町へ帰省する予定でしたので、よい結果の報告ができてよかった。

川添町長と握手をする魁郷関（写真右）



来場所勝ち越せば、幕下に上げられる可能性があるため、地元のパワーをもらって帰りたい」と来場所に向けての意気込みを話しました。

12/1

だんだん市場へ授乳室寄贈

(金)

さらなる安心・安全な施設へ

12月1日、（一社）日本道路建設業協会九州支部から町へ授乳室が送られ、道の駅黒之瀬戸だんだん市場で寄贈式が行われました。

これは、国土交通省が道の駅の地域センター化を掲げ、子育て応援施策に掲げる目標値（道の駅のベビーコーナーの保有率を令和7年までに50%超え）に対して、同協会と（一社）全国道の駅連絡会が連携して全国の道の駅に寄贈を行っています。

授乳室は強化段ボールで作られ幅140センチ、奥行き

目録を受け取る川添町長



190センチ、高さ250センチで、中には大人1人がゆっくりと座れる椅子が設置され、災害時に対応できるよう、重さ約20キロで移動可能となっています。

12/1

薄井漁港恵比寿祭

(金)

海への感謝

12月1日、薄井漁港で海への感謝や安全・大漁を祈願する恵比寿祭が4年ぶりに開催され、地元の関係者約150人が参加しました。

この日は、神事や漁船パレード、餅投げ、懇親会が行われ、大にぎわいとなりました。餅投げでは、子どもから高齢者までの参加者が、大きな袋やバケツを持ち、楽しみながらたくさんの餅を拾い、会場は笑顔であふれていました。

薄井漁民会の北村照幸会長は「伝統を残して海に感謝し、漁民の暮らしを守っていききたい」と話しました。

笑顔で餅投げ



12/2

子ども会・育成会の研修会

(土)

郷土愛を育む

12月2日、「北薩地区子ども会大会・創作活動大会及び指導者・育成者研修会」が町文化ホールで開催され、北薩の5地区から約170人の子ども会員や指導者・育成者などが参加しました。

これは、市町の枠を越えた交流を通して、北薩の良さを理解し、郷土愛や地域活動への意欲を育むことなどを目的としています。

この日は、子ども会の表彰式や活動発表の後、子どもたちは創作活動大会（クリスマスリース作りとポッチャ

クリスマスリース作りに没頭する子どもたち



体験)、保護者や指導者・育成者は研修会の3ブロックに別れ活動を行いました。

クリスマスリース作りを行った町口那菜さん（蔵之元小5年）は「作業に慣れるまで大変だったけど楽しかった。早く家の玄関に飾りたい」と笑顔で話しました。